

経済社会学会年報 X X IV

■大会実行委員長挨拶

■第37回全国大会共通論題「二元的秩序の超克—市場と国家を超えて—」

二元的秩序構想を超えて

永合報告へのコメント

アジアの伝統と近代化—開発独裁からグローバル資本主義へ—

長谷川報告へのコメント

■大会報告論文

EC環境レジームの形成と欧州司法裁判所の役割

—社会構成主義(social constructivism)の観点から—

「第三の道の政治」の経済倫理学的意味

市民社会論再考と公共圏の位置—公共圏への理念的視座—

トナス・アキナスにおける正義と究極目的—正義の超越性をめぐって—

福祉社会の形成と評価

ボランティアと新しい公共性—「私」からはじまる公共性—

産業集積地におけるコミュニティ効果の測定—東京都大田区の事例—

中間セクターとしての小規模作業所

—障害者小規模作業所の健全発展に関する一考察—

これからの老人福祉施設—市場原理の導入がもたらす問題—

■大会報告要旨

ニュージーランドの保険医療改革

コンドラチュフの再評価と長期景気波動論—コンドラチュフの学術遺産と現代—

社会体制の本質と次元—世界史の哲学に関連して—

「身体の規格化」再考—エイジング、ジェンダー、ディスアビリティー

高齢者の居住環境—終いの住まい—

政治・地方自治体のマトリックス会計表

日本産業社会の構造的性格—構造的疎外の視点から—

■自由投稿論文

カンボジアの工場労働者における規範構造—カンボジアにアノミーはあるか—

消費社会論における差異と稀少性

初期ボーデリヤールの消費社会論の理論的再構成

■書評

足立正樹編著『福祉国家の転換と福祉社会の展望』

アミタイ・エチオーニ著『新しい黄金律』(永安幸正監訳)

恩田守雄著『開発社会学』

田村正勝著『見える自然と見えない自然』

富永健一著『社会変動の中の福祉国家』

野尻武敏／山崎正和／ハンス・H・ミュンクナー

／田村正勝／鳥越皓之著『現代社会とボランティア』

■全国大会プログラム 203

■学会会則、役員選出規程、年報編集規程、年報執筆要項 205

■年報掲載確認書 208

■編集後記 209

橋本 昭一 3

永合 位行 5

田村 正勝 12

長谷川啓之 15

福田 亘 23

臼井陽一郎 25

大野 正英 41

権 安理 51

佐々木 豆 60

中島 裕明 67

西尾 雄志 80

松川 誠一 90

李 義昭 101

藤岡 秀英 112

伊藤 玲奈 122

岡田 光正 130

川本信太郎 135

斎藤理恵子 140

福井 浅子 144

松岡 純一 147

三浦 雄二 151

楠本 修 153

小林 大祐 162

水原 俊博 171

三重野 卓 183

橋本 昭一 186

永安 幸正 191

角田 史幸 193

大西 秀典 196

唐澤 和義 198

経済社会学会年報 XXV

共通論題「二元的秩序の超克—市場と国家を超えて—」

2002

経済社会学会編
現代書館発売

編集後記

本年報は毎年全国大会の報告を中心に、共通論題の報告者の論文とそれに対する討論者のコメント、それ以外の報告（準共通論題、自由論題）ではレフリー制による論文または報告要旨を掲載しています。さらに大会報告とは別に自由投稿の論文も、レフリーによる審査を経て受けつけられています。該当する専門分野の先生方にお願いしても断わられることがあります。例年編集委員会では論文審査のレフリーを探すのに苦労しています。学会発展のためにも、会員皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。特に大学院生や若手の研究者の論文を知識豊富な先生方に審査していただき、掲載の機会をできるだけ多く設けたいと考えています（O）。

経済社会学会 年報編集委員会
恩田守雄（委員長）／大西秀典／織田輝哉／島本美智男／竹下公視

経済社会学会年報 XXIV 「二元的秩序の超克——市場と国家を超えて——」

2002年10月4日 初版第1刷発行

権　者　経　済　社　会　学　会
〒657-0013 神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学経済学部気付
電話 (078) 803-6854

編集者代表 恩　田　守　雄
発　行　者　橋　本　昭　一

発売所 株式会社 現代書館
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-2-5
電話 (03) 3221-1221 FAX (03) 3262-5996
振替 00120-3-83725
e-mail: g-shokan@netlaputa.ne.jp

写　植　一　ツ　橋　電　植
印刷・製本　平　河　工　業　社

ISBN4-7684-7081-5 ISSN 918-3116